

クルクルごみ減量通信

第40号

壊れたおもちゃを治療！ おもちゃ病院を開催



市では、年に2回「おもちゃ病院」を開催しています。11月16日（日）に第2回目を開催し、約40組の家族にお越しいただきました。「物を大切に作る心」を育み、またごみ減量のためにも、捨てる前に「おもちゃ病院」に預けてみませんか。

おもちゃ病院とは？

いつも楽しく遊んでいたおもちゃが壊れてしまったら…

そんな時に、おもちゃの修理をお願いできるのが「おもちゃ病院」です。壊れてしまったおもちゃを、「おもちゃドクター」と呼ばれるボランティアさんが修理をして、皆さんのもとにお返しします。

どんなおもちゃが持ち込まれるの？

音が出なくなった・動かなくなったおもちゃ、ほつれたぬいぐるみなどさまざまなおもちゃが持ち込まれます。

※ドローン、ヘリコプターなどの飛行するおもちゃ、楽器、電化製品、骨董品・工芸品などは持ち込めません。



費用はかかるの？

原則、無料です。部品代がかかった場合は、実費負担していただきます。

いつ開催しているの？

尾張旭市では、毎年5月と11月頃に、リサイクルひろばクルクルで開催しています。詳細は、ホームページや広報おわりあさひでお知らせします。



市ホームページ



※ 「おもちゃ病院」でお預かりしても、修理できない場合があります。